

志木市議会議員 無所属

# 天田いづみの議会だより

## 市議会・まちづくり情報



〒353-0006 志木市館1-1-2-108

Tel/Fax:048-471-1338

E-mail: amada@ff.e-mansion.com

天田いづみのホームページ <http://www.ff.e-mansion.com/~amada/>

第30号 2006年9月

### ．．． 国保ヘルスアップ事業で予防・健康づくりを ．．．

国民健康保険の医療費は医療技術の高度化や在院日数の長期化などによって増大しています。志木市における保険給付費は毎年約3～4億円伸びており、2006年度予算では前年度予算比3億4000万円(10.5%)増と見込まれています。国民健康保険税率を改定しても、一般会計からの繰入金は4700万円しか減少せず、尚、約4億8000万円を一般会計から補填しなければなりません。

一人ひとりの健康で医療機関にできるだけかからない生活が、志木市の財政安定化にもつながるのです。

05年度の一人当たり老人医療費は約76万円(県内市中5位)と、毎年約5万円ずつ伸びています。一方、地域ぐるみの予防・健康づくりに取り組んできた長野県茅野市では約58万円、しかも、1999年度の約65万円をピークに減少し、殆ど伸びていません。

2006年度から、65歳以上の高齢者については介護保険制度改革により、基本健康診査時の生活機能チェック等により把握された特定高齢者に対する運動機能向上・栄養改善・口腔機能の向上事業、一般高齢者に対する運動教室等の介護予防事業が行われます。

これまで保健センターが行ってきた基本健康診

査後の事後指導では、要指導約300名中、1割の30名程度、しかも1～2回しか行なわれず、抜本的な生活改善には至っていません。

今こそ保健センター、国民健康保険、高齢者福祉等の担当が国民健康保険ヘルスアップ事業【国庫補助100%で内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)等に着目し、継続的な糖尿病予備軍等の身体状況改善・重症化防止や予防指導事業等、生活習慣病の継続的な改善、予防を医療機関と連携して行う】に取り組み、市を挙げての予防・健康づくり運動を展開する必要性を6月議会で提言しました。

市長は「2007年度の実施に向け、庁内一丸となって取り組んでいく」との答弁でした。



シニア体操教室(06. 8. 2 福祉センター)

## 2006年3月議会 一般質問より

### ■ 学力、規律ある態度、体力の現状と課題

県が示した3つの達成目標について、学力、体力については二極化が進んでおり、規律ある態度については全般的に厳しい状況と聞き、二極化を改善し、少なくとも最低限習得すべきことはできるようにしないと進路に対する選択肢が狭められていくことを危惧します。取り組み状況を調べるために、志木中・宗岡二中・宗岡小・宗岡三小を訪問してから、質問を行いました。

志木中は、校長中心に、すべての教職員が国語、数学、生徒指導、保健体育のチームに所属して研究し、生徒に成果を上げるとともに、規律ある態度の生徒・保護者へのアンケートでは学年が上がるにつれて結果が良くなっていました。1年、2年と着実に努力を積み重ね、3年生がお手本になれるのは素晴らしいことです。家庭の協力も得られていることがわかります。

宗岡二中ではきめ細やかに生徒指導を行い、教職員が一致協力して厳しくも暖かい一人ひとりへの関わりが感じられました。

宗岡三小では、少人数学級、ラーニングサポーターによるチームティーチング、習熟度別指導、休み時間も活用し、基礎基本の定着をはかっており、保護者からも評価されているとのこと。小学校での着実な積み重ねは、中学校、進学、社会人への基礎となるので、子ども一人ひとりの将来を見据えて家庭・学校が連携する教育がとても大切なのです。

宗岡小も保護者が望む観点を事前アンケートで把握しながら取り組み、アンケートの回収率も上がっている等、家庭との信頼関係、保護者の関与を高めている点は重要です。

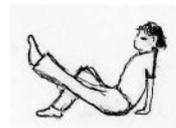
生きる力、学習意欲の低下等社会全体の課題に対して、偏差値的な学力よりも、生涯にわたって学ぼう力をつけていく教育のあり方が求められます。各学校の努力に対し、教育委員会には指導主事を中心としたより一層の学校支援を求めました。

### ■ 社会教育、生涯学習、図書サービスの理念と方向性

各公民館、図書館が志木市としての社会教育、図書サービスのあり方の理念と方向性を持つべきと長年働きかけてきました。

図書サービスについては、柳瀬川図書館が中心となって、04年度から図書館運営基本方針を定めています。

社会教育についても、4月からいろは遊学館が宗岡公民館、宗岡第二公民館を一元管理するようになるのを機に、地域社会の課題に働きかけ得る社会教育、生涯学習拠点としての指針を定め、それに基づく事業計画、行政パートナーの研修等の推進を求めました。



### ■ スポーツ行政について

スポーツ振興計画策定については、以前審議会に諮られたものの、国民体育大会等で中断したままとなっています。担当課は各種スポーツ大会等の事務局で多忙ということですが、今日の行政のあり方として、民間でできることは任せながら、行政のマネジメント機能を発揮し、スポーツ振興計画を策定して、市民と協働しながら生涯にわたる健康づくりを推進すべきです。

05年度は志木市地域子ども教室実行委員会、志木市スポーツ少年団が中心となって、市民スポーツ、地域団体の幅広い協力のもと、国の補助金を活用して「地域子ども教室」が開催されました。8月から2月まで小学校等で子どもたちのための事業が行われ、今年度も計画しているとのこと。こうした民間のとり組み、ノウハウを生かしたいものです。

スポーツ振興計画については、できるだけ早い機会に定めていきたいとの教育政策部長答弁がありました。

【今年度開催中の地域子ども教室についての問い合わせ 生涯学習課スポーツ振興グループ TEL 473-1111 内線 3142】

## ■ 郷土の歴史文化の活用

### (1) 水害の歴史を伝える樋門、水塚(みづか)等の文化財指定、保存

樋門…宗岡地区では江戸時代に洪水から守るため村全体を囲む惣囲堤(輪中堤)が設けられ、そこには排水を管理するための樋門が設けられていました。江戸時代には木製で12か所あったようですが、明治後期に石造やレンガ造に改修された内の4か所が今も残っています。水圧で自動的に開閉する観音開きなど、水害の歴史と知恵を今に伝える籠島門扉、大小合併門扉、北美塚樋(いりひ)、新田塚樋を早急に文化財指定し、開発に対して保全すべきと提言しました。

水塚…宗岡の水田地帯に点在する屋敷の一部に盛り土し、その上に建てた蔵(倉)の1階に穀類等を貯蔵し、衣類等を保管した2階は洪水時の避難場所となり、舟も備えていました。江戸時代からつくられ、今も50基以上残っています。

樋門が公有地にあるのに対し、水塚は民地ですが、保全の努力が望まれます。

教育長からは、樋門については文化財保護審議会と詳細な調査を行った上で、水塚については所有者や学識経験者とともに検討していきたいとの答弁がありました。



大小合併門扉 (市民総合センター北側)

### (2) 学校教育、社会教育、生涯学習への活用

郷土の歴史、文化財について研究をされている市民の方々の知識、資料を学校教育等に活かしたい。発掘された土器や農機具等を使った当時の生活体験など、余裕教室を使つての文化財の活用を提言、「文化財保護審議会委員や市民ボランティア団体等が講師となり、提供できる講座を紹介した文化財講座一覧表をつくり、活用を図りたい。土器は志木四小に保管しているが、志木四小の中に土器に触れたり、土器作りを体験できるようなコーナーの設置を検討したい。」との教育長答弁でした。

### ■ 市庁舎に市民、職員のための休憩、食事スペースを

現在、食堂も売店もなく、喫茶店が無料職業紹介所「ジョブスポットしき」になり成果を上げているが、休憩スペースが無い。市民から心配する意見があり、会議室等も不足している状況は承知しているが、何とか工夫できないか提言。

### ■ 高齢者に配慮したごみ集積所のあり方

市指定のごみかごが重く、もう少し軽いものにできないかとのご意見をいただきました。新座市は地域の実情に応じた容器を認めているとのこと。臨機応変な対応を求め、環境推進課に相談の上、指定かご以外の容器でも収集されることになりました。



志木小給食試食会 (06. 6. 23)

## 2006年6月議会 一般質問より

■ 予防、健康づくり については1ページ参照。

### ■ 志木駅、柳瀬川駅へのAED（自動体外式除細動器）設置

2006年度市の予算で中学校体育館4か所、ロータリークラブ寄贈により市役所高齢者ふれあい課、市民体育館、故大木豊さん(大木医院院長)夫人の時子さん寄贈により秋ヶ瀬スポーツセンターに AED（自動体外式除細動器）が設置されました。

除細動（心臓への電気ショック）により救命行為ができる AED への関心は高く、3月12日志木ニュータウン合同総合防災訓練の際「駅には設置されているのでしょうか？」との問い合わせをいただき、調べてみました。

（株）東武鉄道本社によれば、「東武鉄道では AED は未設置で検討中なので、東武鉄道改善対策協議会を通じて要望してほしい。」とのこと。

志木駅、柳瀬川駅への AED 設置を、沿線自治体で組織する東武鉄道改善対策協議会を通じて（株）東武鉄道に要望するように市長に求め、「要望していく」との答弁でした。

※ 7月に市から要望書が提出されました。

### ■ 志木市の教育行政について

#### (1) 部活動について

「広報しき4月号に『中学校部活動の活躍』として県大会での成績等を載せた意図は何か。教育に関わる情報発信には、その全てにおいて教育的に明確な意図と配慮がなければならない。

部活動での活躍には様々な要素があり、成績だけが全てとはいえない場合もあるだろう。私がそうであったように、義務教育課程では子どもたちも保護者もまだまだ未熟であり、互いに学び合いつつ成長していくもの。例えば、部活動による学校選択があってもいいと思うが、中学校生活は部活動が全てではない。



教育委員会には教育のプロとして、そうした様々な教育的配慮に基づき、あらゆる子どもや家庭に教育についてより望ましい理解を深められるような情報発信を望みたい。」との趣旨で教育長に質しました。

「広く市民に部活動の現状や中学生が頑張っている様子を伝えるとともに、外部指導者など協力を得るために、部活動の設置状況や実績等を掲載した。」とのことですが、「多様性を大切にしていきたい。」という教育長の考え方が示されました。

#### (2) 学校特色化について

校長の裁量権を拡大し、学校予算の一部を学校独自で非常勤講師の人件費等に充てることのできる学校魅力化推進事業が、06年度学校特色化推進事業となりました。志木市が考える「特色化」とは何でしょうか。

私は、学習指導要領総則に「教育課程(カリキュラム)は各学校が地域や学校の実態及び児童・生徒の心身の発達段階や特性を充分考慮して編成すべきもの」とある通り、各学校がそれぞれの地域性や教育課題を見極め、子どもたちに足りない点を補い、良いところは更に伸ばしていけるようなきめ細やかな教育課程と、それに基づく人的配置により、どの学校に行っても確実に習得できるのが公立学校本来の姿であると考えます。

仮にも付加的な特色化にとられることの無いよう、教育関係者のみならず、私たち市民もしっかりと見極めていくことが大切です。

教育委員会は「人材活用を経費の中心に据えて、学校の特色がより発揮できるように見直しを行った。」ということですが、各学校の地道な努力をしっかりとサポートしてほしいものです。

#### (3) 指導力向上について

教育の質を高めるために最も重要な指導力向上には、様々な手法で取り組むことが必要です。

志木市には音楽、体育、理科、英語、図工美術、書写、特殊学級、学校図書館、養護教員、栄養士、

生徒指導、進路指導等の活動委員会がありますが、算数、国語、社会科等についてはありません。教職員の主体的な授業研究意欲を支援することも必要でしょう。

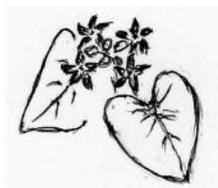
学校毎の校内研修を充実させていくことも重要です。2001～2年度には教育委員会が全小中学校を研究指定し、学力向上に取り組みましたが、その後も教育委員会等の委嘱研究は毎年数校が継続しています。教職員がチームで取り組み、校内研修も活発になり、保護者、地域住民をも巻き込んで教育が地域に開かれていくことを、多くの研究授業公開に参加し感じてきました。

いずれにしても、教育委員会指導主事が日常的に学校の実態に対してきめ細やかにサポートしつつ、

教育委員会主催の研修を充実し、校内研修や研究会へのバックアップを行っていくことが重要です。

また、県では初任者(新任)、5年・10年・20年経験者研修しか行われなため、今年度は、指導主事が独自に2～4年目までの若手を中心とした教職員研修を企画し、教科指導力とともに、集団掌握力(プレゼンテーション、企画力、クラス集団をまとめる等)を高めていくグループ研究に対して指導を行っているということです。

全体として、教職員に対して指導した内容が定着したかどうかの見届けを重視し、きめ細かな学校訪問等の進行管理を行っているということが、一般質問を通じてわかりました。



## 行財政再生プラン(2005～2010年度)の取り組みから

市民意見も入った行財政再生プラン(06年3月策定)にこれまでの提言が反映されました。本年度の推進実行計画に基づき、市民の視点で着実に実行されるよう提言していきます。

特に民間委託や指定管理者制度、公共施設の適正配置等については、単なる行政コストの削減ではなく、市民にとってより良いサービスが提供できるのか、サービスの質をどのように検証、評価、改善していくかといった点が重要です。市民が参画できる検討のあり方も必要です。

職員の定員管理及び給与の適正化については、5年間で職員数を56人(9.8%)削減し、退職者の1/2程度を新規採用することとしています。

人事評価制度と連動した新たな給与制度、公務員特有の特殊勤務手当等の見直しについては、若手職員を中心に公募のプロジェクトチームで検討、人材育成基本方針も策定中です。職員に対する福利厚生事業として支出されてきた職員互助会への補助金は06年度から廃止されました。

また、市民協働については7月に動き出した市民協働運営会議(公募等の市民20名)で、新たな市民協働のあり方について検討するということです。職員によるプロジェクトチームの素案を、運営会議では市民の立場から検討し、広く市民意見の反映も行っていくということです。

市民協働は行財政改革のみならず、志木市の市民自治の根幹に関わる大変重要なテーマです。私たちは住民として、あるいは企業市民として、少子高齢社会における我がまちのあり方を市民活動(NPO、ボランティア等)、市民事業、コミュニティのあり方、行政が真に担うべき業務と市民との役割分担(自助、互助、公助のあり方)等の観点から考えていきたいと思えます。

市民協働運営会議には、公募市民だけではなく町内会、事業主や商工会、体育協会、子ども会やPTAの方々が参画しています。私たち自身が志木市の中で自己実現していけるために、一緒に考えてみませんか。

## ● 天田いづみの活動日誌(主なもの) .....

11月6日 市民文化祭

9日 行政パートナー2006年度業務について(宗岡公民館、総合センター)

10日 朝霞地区議長会議員研修会「新潟県中越地震に学ぶ」小千谷市地域消防本部

12日 第9回 志木教育政策研究会「公立小・中学校教員の人事について」

13日 市民まつり(商工まつり・産業祭)“皆さんの心意気に拍手!!”



16日 朝霞地区4市消防団連合点検

17日 国民健康保険運営協議会傍聴

20日 防災セミナー「地域と家庭の震災対策」防災システム研究所所長 山村武彦さん

22日 臨時議会・・・職員の給与改定

26日 男女共同参画フェスティバル

「成年後見制度と高齢者の人権」成年後見センター・リーガルサポート理事長 大貫正男さん

27日 「みんなでつくろう!! 志木のお宝マップ」谷合写真館 谷合茂樹、郷土史研究家 安齋達雄、  
ニュータイムス発行人 岩下隆さん他(NPO法人エコシティ志木、生態系保護協会志木支部)

28日 志木地区衛生組合臨時議会

29日 志木四小通学路安全チェック

12月1～22日 議会定例会

9日 地域包括支援センター運営協議会及び地域密着型サービス運営委員会傍聴

10日 志木二小ふれあいコンサート・・・志木二中、地域の方々と音楽で交流

志木三小「ふれあい110番」ふれあいコンサート・・・県警防犯指導班“ひまわり”他

19日 全員協議会・・・財政安定化プロジェクト中間報告について

9月4日の豪雨により発生した水害原因調査委員会最終報告

23日 志木第九の会 第11回定期演奏会 メンデルスゾーン オラトリオ「エリア」

26日 志木地区衛生組合議会・・・06年度の予算編成方針について

下水道事業審議会傍聴

27日 志木二小に12月10日新設された志木第二学童保育クラブ視察

06年1月1日 自由学園新年礼拝で卒業生としてお話

3日 さいたま市千貫樋水郷公園視察

8日 消防出初式

映画「日本国憲法」(志木暮らしの草の根ネットワーク“ラ・ボーロ”)

12日 下水道事業審議会傍聴

13日 市民病院ルネッサンスプロジェクト委員会傍聴

22日 特別支援教育・個別支援計画勉強会(朝霞手をつなぐ育成会)

23日 志木四小ニュータウン剪定枝活用の手づくり垣根、地域に開かれた掲示板視察(大滝校長)

下水道事業審議会傍聴

28日 「学校を卒業して、それから」NPO法人 障害者の職場参加をすすめる会 鈴木操、NPO法人 緑の風福祉会ひつじぐも舎 本間光浩さん(朝霞手をつなぐ育成会)

- 2月3日 市民病院ルネッサンスプロジェクト委員会傍聴  
4日 サポーター養成講座開講記念フォーラム（NPO法人 発達障害支援センターひまわり）  
8日 館保育園あそぼう会に2歳の姪と参加  
新垣勉チャリティーコンサート（社会福祉法人 埼玉聴覚障害者福祉会）  
15日 宗岡公民館の運営について（みどりの風代表 高野弘子さん）  
18日 地域福祉懇談会 館・幸町地区（社会福祉協議会）  
22～3月20日 議会定例会  
25日 志木三小もちつき大会 “ PTA、おやじの会の地域パワーがよかった !! ”  
3月3日 市民病院ルネッサンスプロジェクト委員会傍聴  
6日 ジョブスポットしき オープニングセレモニー・・・村上文 埼玉労働局長他  
7日 学力、体力、規律ある態度のとりくみについて（志木中 江口教頭、宗岡二中 大塚校長、宗岡三小 星場教頭）  
8日 学力、体力、規律ある態度のとりくみについて（宗岡小 小川校長）  
12日 志木ニュータウン合同総合防災訓練（志木ニュータウン町内会連合会、志木市）  
15日 志木二中卒業式  
19日 志木二中吹奏楽部第9回定期演奏会  
21日 市民委員会 最終全体委員会  
22日 志木二小卒業式  
23日 アフターファイブ（21しき市民会議5期）  
28日 志木地区衛生組合議会・・・2006年度予算に対する質疑  
4月1日 天田いづみのティータイム  
6日 アフターファイブプラス（21しき市民会議5期）  
10日 志木二中入学式  
11日 志木二小入学式  
12日 学校訪問（宗岡中 古庄校長）  
13日 地域包括支援センター 柏の杜訪問（福本主任ケアマネージャー）  
地域包括支援センター せせらぎ訪問（井本所長）  
14日 市民病院ルネッサンスプロジェクト委員会傍聴  
24日 上木町寿会定期総会（福祉センターにて）  
28日 西原斜面林視察（都市整備課、環境推進課、生涯学習課）  
5月10日 志木四小の教育について、校内視察（大滝校長）  
志木四小もくせい会定期総会  
6月2～22日 議会定例会  
6日 アフターファイブプラス（21しき市民会議5期）  
10日 サポーター養成講座 小貫悟さん（NPO法人 発達障害支援センターひまわり）  
23日 志木小給食試食会  
28日 志木地区衛生組合議会  
30日 NPO法人 志木市精神保健福祉をすすめる会小川事務局長、市長と懇談



5月に母を送り、その後父のサポートと、6月議会前後は殆どかかりきりになりました。行政の福祉サービスには限界があり、いずれにしても家族が中心となって関わりつつ、本人が安心できる状況をつくっていくことが必要です。

そのためには、高齢者問題を家族だけで抱え込まない為の相談機能として、4月にオープンし

た地域包括支援センターの役割が重要です。家族の息抜きの重要性も痛感。皆さんもお気軽に相談してみませんか？

介護予防、総合相談、高齢者の尊厳・人権を擁護する活動、地域での暮らしを総合的にサポートする活動等を、社会福祉士、主任ケアマネージャー、看護師がチームで行っています。

名 称	場 所	担当地区
地域包括支援センター 「 柏 の 杜 」	柏町3-5-1 第二福祉センター内 (486)5199	柏町・幸町・館
地域包括支援センター 「せせらぎ」	中宗岡1-19-61 (485)2113	本町・宗岡



志木ニュータウン合同総合防災訓練 (06. 3. 12)

12月議会で地域での自主防災組織づくりを提言しましたが、今年度市が各町内会を通じて自主防災組織の立ち上げを働きかけています。

阪神・淡路大地震では、地元の消防団と住民が協力し合い、火災の延焼を食い止めたり、倒壊家屋などから多くの人々を救出したり、被害の拡大防止に大変貢献したと報告されています。

このことから、地域住民が自発的に防災組織を結成し、日頃から地震などの災害に対し、備え、活動し、協力していくことが重要となります。

既にいくつかの町内会では、組織化に向けた準備が行われているとのこと、皆さんの地域ではいかがでしょうか。



## ティータイム

10月7日(土)

午後 2:00~4:00

柳瀬川図書館2階和室

「地域包括支援センター柏の杜」の主任ケアマネージャー 福本麻紀さん(社会福祉士)をお招きし、高齢者福祉、介護についてお聞きします。

どなたでもお気軽にご参加ください。

緑といづみのふれあいネットワーク

(連絡先 天田 471-1338)

天田へのご意見等はいつでもお待ちしております。守秘義務は厳守します。安心してご相談下さい。

**\*\* これまでの活動とその成果は！！ \*\***  
**天田いづみのホームページでご覧下さい**  
<http://www.ff.e-mansion.com/~amada/>  
 《天田いづみ》で検索して下さい